



看護の舞台は、病院だけじゃない！



「その人がその人らしく生きること」を社会の中で支える、私たちの革新的な学び

ベルランド看護福祉大学校

テーマ：看護の舞台は、病院だけじゃない！ カテゴリー：②教育内容

所在地：大阪府堺市中区東山 500-3 高度専門看護学科 1 学年 80 名定員 就業年数 4 年

ベルランド看護福祉大学校では、「ヘルスプロモーション」の考え方を軸に授業・実習を展開しています！

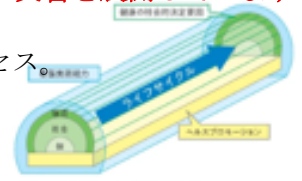
【ヘルスプロモーションとは】

人々が自らの健康とその決定要因をコントロールし、改善できるようにするプロセス
～人の一生（ライフサイクル）を捉えて～

人が生まれ、成長し、働き、暮らす環境（SDH：健康の社会的決定要因）は、一人ひとりの健康を大きく左右し、生涯を通じて常に変化します。

本校では、その時々々の状態に応じて必要なケアを提供し、健康状態の維持・改善と QOL（生活の質）向上を支援できる「看護実践能力」の育成を目指します。

少子高齢化が進む現代にこそ、必要不可欠なアプローチです。



2 年次の実習

ベルランドのココが自慢！！



「えっ？企業にインタビュー？！」驚きからはじまるアクティブ・ラーニング

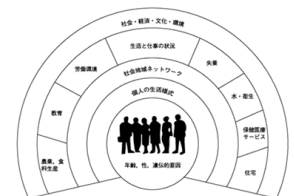
1. 地域に飛び出し、多様な「暮らし」と「健康」を知る！
自ら地域社会へ赴き、子ども(保育園、中学校、高校、大学)から高齢者(介護施設、保健センター、地域包括支援センター)、働く人(企業)まで、あらゆるライフステージに生きる人々の「生活の場」を体験します。それぞれの現場で行われている活動が、どのように人々の健康を支え、豊かな社会基盤を作っているのかを肌で感じて学びます。
2. 「その人らしい健康」の背景にある、社会のカタチを紐解く
私たちが目指すのは、単に「病気ではない状態」を探ることではありません。様々な環境で生きる人々との対話を通して、「その人にとって、心地よく、健康に暮らすとはどういうことか」を深く見つめていきます。
育ち、学び、働き、老いていく——。日々を営むリアルな暮らしの背景（SDH：健康の社会的決定要因）に目を向けたとき、社会の仕組みや生活環境が個人の健康にいかに深く結びついているかが見えてきます。健康と社会のリアルなつながりを学び、これからの生き方と社会のあり方を紐解いていきます。

病院だけじゃない、看護実践力

領域を横断し、変化する「療養の場」に切れ目なく寄り添う（3 年次～4 年次）

講義と連動し、生活環境や社会背景（SDH）に目を向けながら、最期までその人らしく生きるための健康課題を明確にします。

入退院支援センターでの支援や小児外来での継続看護の学びを活かし、病棟から地域へ「療養の場」が変化する対象に伴走する看護を実践します。



実践の深化と多職種連携・統合

病院の壁を越え、多職種連携の実際を現場で体感

チームで課題を解決するプロセスを通し、この先地域で生活する対象の QOL やニーズを踏まえた社会資源の活用・援助の実際を追究。最後は、あらゆるライフサイクル・健康状態・生活の場における看護を統合し、ヘルスプロモーションを体現する実践力を完成させます。



・患者の疾患や身体機能だけではなく、その人らしい生活や退院後の生活環境にも目を向けて継続看護を意識した看護実践ができる



・療養の場が変わる看護では、知識提供だけでは不十分であり、対象が生活と結び付けて考えられる支援が重要だと気付けた



・疾患だけでなく、生活背景や住環境をふまえた個別性のある退院支援が実施できた